

長い棒を取り付けて、



どんどん、田んぼの水が濁っていきます。

グルグル回って戻ってきました。畦に上がるやいなや、横から、さっ！と機械に飛び乗る人影が。あまりの素早さにびっくり！人が重しの代わりになって、機械が後ろにひっくり返らないようにするんだって！一人のときはバックで畦に上がるのが決まりとか。実は重要なんです。



長い棒を上げてみると、吊したチェーンに草

や去年の株が引っ掛かっています。チェーン除草をしていたのですね。あり物を



集めて手作りの除草機、総額500円！お安いのになんとW効果除草です！チェーンで細かい草を泥に埋め込み、埋められなかった大きな草はチェーンの先につけた針金で絡め取ります。運転していた椎名くんは、植えた苗を痛めないように、慎重にハンドルを操作し気を使います。1週間に1回行うそう。絡まった雑草を取るのもめんどくさそう。ご苦労さまです。



草取り

9:30~

10:00~

ほう葉寿司作り

大人600円、小学生400円
会員以外 / 大人1,000円、
小学生500円

かも〜ん

佐見稲作研究会

<http://gougura.main.jp/>

ザザザ、

郷蔵米

通信

6月号
2019



5月26日は田植えでした。暑い中、田植えをしてくださいだった会員の皆様本当にありがとうございました。そしてきれいに並んで植えられた稲を見ると皆さん他人同士なのに息があつてるんだなあ、と感じました。そこへ、1台の田植え機が入っていきます……



横の田んぼでは、唯義さんが水の調整をしながら苗の補植をしていました。勢よくバルブからあふれる水。人の手だけでは、開け閉めできません。そこで必要なのが、これまた手作りの開栓棒。昭明さんが溶接して作りました。すごい！栓にあった角度や、使いやすい長さ、力の入れやすさなど、考え始めたら疲れて作れないな。もう一つ便利なものを見つけました。腰にぶら下げたかごです。専用だけあって腰に沿ったカーブがいいかんじです。稲はよく洗って土を落として、根っこだけに。きれいだなあ。こうすると指でささっと3本すくって、すずすと、植えていけます。根っこを力づくで取っては、ちぎれて大丈夫かいな、とハラハラしながら植えていたワタシは、来年やろう！と心に決めました。



@sato_kuranosuke も見てね！

